

監査報告

2024年2月13日～15日

帝京ロンドン学園

フルマーグランジ

フレームウッドロード

ウェクサム

バッキンガムシャー

SL2 4QS

The Independent Schools Inspectorateは、教育省から任命され、イングランドの私立学校施設を監査する機関である。私たちの監査は、私立学校のための法的基準およびその他の適用される規制要件がどの程度満たされているかを報告するもので、本報告書ではこれらを総称して「基準」と呼ぶ。

目次

監査結果の概要	3
学校が満たしている基準	4
次に推奨されるステップ	4
セクション1：リーダーシップ、マネージメント、ガバナンス	5
学校がリーダーシップ、マネージメント、ガバナンスに関して満たしている基準	5
セクション2：教育、トレーニング、娯楽	6
学校が教育、トレーニング、娯楽に関して満たしている基準	7
セクション3：生徒の身体的・精神的健康、感情の満足度	7
学校が生徒の身体的・精神的健康、感情の満足度に関して満たしている基準	9
セクション4：生徒の社会的・経済的教育、社会への貢献	9
学校が生徒の社会的・経済的教育、社会への貢献に関して満たしている基準	10
安全保護対策	10
学校が安全保護対策に関して満たしている基準	11
学校詳細	12
学校に関する情報	13
監査詳細	14

監査結果の概要

1. リーダーとマネージメントは、学校に対して明確なビジョンを持っている。マネージメントは、学校の業務のあらゆる側面を監督し、リーダーが生徒の変化するニーズに対応できるように計画を監視及び評価している。
2. リーダーは、学業、課外活動、スポーツなど幅広いプログラムを計画している。カリキュラムには、日本の高校卒業科目を含む様々な科目が含まれている。リーダーは最近、国際バカロレア（IB）を導入した。全生徒は追加言語として英語を学び、また IGCSE の美術の選択科目もある。サッカー協会公認のコーチング・ライセンスレベル1を取得するために、サッカーコースを受講する生徒もいる。生徒は英国で公的試験を受けず、日本に帰国する。ほぼすべての生徒が、進学のために日本に帰国する。
3. 特別な教育ニーズや障害（SEND）を持つ生徒を含め、生徒がよい進歩を遂げることができるように教師は努めている。教師は確かな教科の知識を持ち、授業は適切な教材を用いて行われている。しかし、中には生徒の話す力や書く力を伸ばす上で適切な教材が効果的に使われていない授業もある。このような場合、生徒の進捗状況は遅くなる。
4. 生徒の身体的及び精神的な健康や、感情の満足度を促進するシステムが整っている。生徒は毎日担任の先生や寮職員に会い、自分たちが受けているケアについてよく理解している。リーダーは、定期的に教師や寮職員と連携し、生徒の健康状態を確認し、懸念事項についてのフォローアップを行っている。
5. リーダーは生徒の品行に対して高い期待を寄せている。生徒は明確な褒美制度と罰則を理解している。生徒は周りの人を尊重し、思いやりを持って行動することができる。いじめが少ないことを示す適切な記録が保管されている。リーダーは懸念事項があれば迅速にフォローアップしている。リーダーは、生徒が教科の選択や将来の選択について明確なガイダンスを受けられるように計画を立てている。生徒は、次の教育段階に進むための個別のサポートを受けることができる。
6. 健康と安全に関する取り決めは適切である。必要な検査は適切な期間内に行われている。リーダーは、火災によるリスクを減らすために適切な行動を取っている。リーダーは学校のすべてのエリアにあるリスクについて注意を払っている。しかし、リスクを軽減する必要性の知識や認識をリスクアセスメントに詳細に記載しているとは限らず、これは監査中に改善された。
7. 安全保護対策は効果的である。安全保護対策に関する方針は最新の法令ガイダンスを含み、学校のウェブサイト公表されている。リーダーや職員は常に最新のトレーニングを受けている。リーダーは、安全保護対策や、メンタルヘルスに関する懸念事項の記録を保管している。懸念事項が確認された場合、リーダーは迅速に対応し必要に応じて適切な機関と連携する。

学校が満たしている基準

- リーダーとマネージメント、ガバナンスに関する基準は満たされている。
- 教育、トレーニング、娯楽に関する基準は満たされている。
- 生徒の身体的・精神的健康、感情の満足度に関する基準は満たされている。
- 生徒の社会的・経済的教育、そして社会への貢献に関する基準は満たされている。
- 安全保護対策に関する基準は満たされている。

推奨される 次のステップ

リーダーには以下が推奨される。

- 生徒の話す力と書く力を向上させるための適切な教材を一貫して提供していることを確認すること。
- リスクアセスメントにすべての関連する詳細が記載されていることを確認すること。

セクション 1：リーダーシップ、マネージメント、ガバナンス

8. リーダーは、周りへの礼儀や配慮を定期的に教えることで、学校の目標を理解させる肯定的な文化を確立している。生徒はこうした期待によく応えている。カリキュラムは適切にバランスが取れており、日本のカリキュラム要件を満たすだけでなく、より困難な学業、課外活動、スポーツなど変化に富んだプログラムを提供している。生徒は熱心に参加し、新しいスキルを学び、自信を深めている。
9. リーダーは、慎重に計画された発展的なプログラムを通して、生徒の健康や福祉に十分な配慮をしており、生徒のニーズを満たしていることを確認するために、定期的に見直している。リーダーは、方針と計画の実施状況を監視、評価する。学校は効果的に運営されており、職員は、生徒が適切にケアされるよう、定期的なミーティングを通して最新情報を把握する。
10. リーダーは、健康と安全のあらゆる面を効果的に管理している。校舎や寮はよく整備されており、火災や他の安全に関する検査は適切な期間内に行われている。リーダーは、起こり得るリスクを認識し、安全のための手順が厳格に守られるようにしている。しかし、監査時には、すべてのリスクアセスメントと内容が更新されていなかった。これは速やかに修正された。
11. リーダーは生徒の意見を聞き、生徒の学校での体験が肯定的なものであるよう監視している。リーダーは、生徒の学習と個人的な成長のあらゆる面をサポートするために、生徒の意思決定と計画を反映させている。評価データによると、生徒の学習は順調に進んでおり、個々の出発点から良好な成果を上げている。アンケートの回答では、生徒は学校に満足していると答えている。寮生は、寮職員によく面倒を見てもらっていると答えている。
12. 生徒は、生徒をよく知る職員によってケアを受けている。リーダーは定期的に職員との面談を行い、懸念事項を監視し、生徒が適切なケアを受けられるようにしている。生徒は、何かサポートが必要な場合には誰に相談すればよいかを知っている。
13. 保護者向けの情報は、学校のウェブサイトや定期的な手紙を通して入手できる。保護者には、子どもたちの学習状況、活動、遠足などについての最新情報が提供される。学校は、The Equality Act 2010の要件を満たす適切なアクセシビリティ・プランを持っている。リーダーは、保護者からの苦情に迅速かつ効果的に対応し、適切な記録を残している。
14. 安全保護対策は効果的である。リーダーは、方針が最新の法的ガイダンスに対応し、職員に周知されていることを確認している。リーダーは安全保護チームをサポートするために定期的にミーティングを行い、手続きが一貫して守られていることを確認している。

学校がリーダーシップとマネージメント、ガバナンスに関して満たしている基準

15. すべての関連する基準を満たしている。

セクション 2：教育、トレーニング、娯楽の質

16. カリキュラムは、日本の高校卒業資格や最近導入された国際バカロレアの要素に対応した適切な学習計画を提供している。生徒は英国と日本のカリキュラム要件を満たす様々な科目を学んでいる。全生徒は追加言語として英語の筆記と会話を学んでいる。IB を選択する高校 2 年生は、日本語と英語で適切な数の科目を学ぶ。生徒は適切な学習コースを選択するよう指導され、バランスの取れた学習・運動のプログラムを実施している。
17. 生徒の学習をサポートし、進捗状況を監視するために、計画的な評価の枠組みが整っている。リーダーは、半期ごとに定期的に行われるテストから生徒の進歩を把握している。半期ごとのテストの後、リーダーはその結果を教師と共有し、生徒と目標を決め設定する。担任の先生が情報を共有し、話し合うことで、生徒は自分の学習状況を把握し、重点的に改善すべき点について話し合うことができる。生徒は通常、それぞれのスタート地点から順調に進歩を遂げ、成果を上げている。寮生は夜間の追加サポートに感謝している。
18. 教師は教科の知識が豊富で、授業の雰囲気は実に有意義なものである。教師は通常、生徒の学習意欲を高め、興味を持たせるために様々な教授法を用いている。ほとんどの教師が適切な教材を使用しているが、生徒が英語のスキルを伸ばすのに十分なサポートを提供できていない授業計画もある。
19. 教師は生徒のことをよく理解しており、授業中も良好な関係が保たれている。生徒は真剣に学習に取り組んでいる。生徒は自信を持って質問し、クラスで発表する準備ができている。
20. 特別な教育的ニーズや障害（SEND）を持つ生徒には、詳細な個別の学習計画がある。教師は、これらの生徒が進歩を遂げられるよう、授業において的確なサポートを提供している。また、生徒は追加のサポートとして保健室に通うことができる。保健室の職員は生徒と接する時間を有効に使っている。生徒が学習上の障壁を克服できるような方策を提供し、自信を高め、辛抱強く学習するよう促している。
21. カリキュラム全体を通して、生徒は進歩し真剣に取り組んでいる。日本語で行われる授業でも、生徒は自分自身を表現したり、質問したりすることができる。入学時の生徒の英語の読み書きや会話のレベルは様々である。教師は生徒の出発点を評価し、知識とスキルを伸ばすための適切な計画を立てる。長期的なアセスメントによると、ほぼすべての生徒がカリキュラムを通して順調に進歩している。時折、生徒の予備知識をもとに彼らのスキルを伸ばすような語彙や構文を提供しない授業もある。このような場合、話すスキルと書くスキルの上達は遅くなる。
22. リーダーは、生徒の能力を伸ばすために、バランスの取れた様々な活動やスポーツのプログラムを計画している。生徒は定期的に様々なスポーツ、料理、創作活動に参加している。生徒は熱心に参加し、自分のスキルを伸ばすことに意欲的である。例えば、料理の活動では、生徒はバレンタインデーを祝うために特別なビスケットを焼いて他の生徒と分け合った。生徒は、自分で計画を立て、チームを作り、材料を買い、協力し合い、作業を楽しみながら、チームビルディングと料理のスキルを高めた。

学校が教育、トレーニング、娯楽に関して満たしている基準

23. すべての関連する基準を満たしている。

セクション 3：生徒の身体的・精神的健康、及び感情の満足度

24. リーダーは、生徒の心身の健康を効果的に促進している。よく考えてまとめられた2日間にわたる研修の一部として、生徒は保健や寮の職員と面談する。生徒は、自分のクラスの他の生徒に紹介される。研修期間中は、寮生担当の職員とリーダーが待機している。寮生は、各自の寮で過ごし、職員に会い、寮での過ごし方を学ぶ。生徒は、自分たちをサポートするためになされた努力に感謝し、自信を持って学校での日々の生活に慣れていく。生徒はアドバイスやガイダンスを誰に聞けばよいかを知っているので、安心することができる。年長の生徒は監督生やハウスリーダーとしてトレーニングを受けており、年下の生徒の心配事を聞き、家庭的な雰囲気を作り上げている。このことは、開校1年目の元生徒が新しい校歌を作曲・発表し、生徒と一緒に覚えたことでも明らかであった。
25. 水泳、バスケットボール、バレーボールなどの体育は、全生徒へのカリキュラムの一部である。テニス、キックボクシング、空手など、さまざまなクラブがあり、生徒はスキルを向上させ、定期的に体を動かす機会を得ている。サッカーコースに参加する生徒は、地元のサッカーの試合に参加したり、学校の体育館でトレーニングを受けたりしながら、プレーやコーチングのスキルを高めている。すべての生徒が定期的に活動し、身体の健康を促進している。様々なスポーツの試合が企画され、学校の体育館は定期的に使用されている。
26. 学校の福利厚生は、生徒の情緒的なニーズをサポートしている。リーダーは、人間関係と性教育（RSE）を取り入れた適切なプログラムを計画し、生徒が年齢に応じた幅広いトピックを探求できるようにしている。このプログラムは、生徒が今日の世界、ソーシャル・メディアやその他のメディアの課題に対処し、十分な情報を得た上で決断できるようにするものである。生徒から学習に対するフィードバックがあり、それをもとに職員がプログラムをアレンジし、より詳しい説明をしたり、トピックを再度取り上げてディスカッションを行ったりする。
27. 生徒の心身の健康のために適切な時間が割かれている。生徒は、他校を訪問して文化的な体験を共有したり、ロンドンへ出かけて芸術的・文化的な視野を広げるなど、幅広い機会を楽しんだりしている。生徒はイギリスについてより深く学び、英語への理解とスキルを高め、自信を深めていく。年2回のヨーロッパの都市への文化旅行（最近ではベルリンとバルセロナ）は、生徒の視野をさらに広げている。生徒は、自信と自尊心を育むこうした文化体験の幅広さを大切にしている。
28. 積極的な励ましによって、生徒は自分の才能や興味を追求するようになる。生徒は運動と健康的な食事の重要性を認識している。また、多くのスポーツや創作活動に熱心に参加している。サッカー部員は地元のサッカーチームに参加し、ほとんどの生徒がジムで定期的に運動している。
29. リーダーは、高水準の品行と敬意を期待し、それが規範となっている。生徒は、始業式と終業式で、行動規範と期待される行動について再確認を行う。生徒は常に礼儀正しく、思いやりがあり、仲間や大人とも同じように肯定的にコミュニケーションをとることができる。生徒は、学校の規則や褒美制度、罰則の必要性を理解しているが、罰則は用いられることはほとんどない。生徒は、いじめはめったにないと確認している。登校中と寮内では、適切な監督がなされている。リーダーは、SENDを持つ生徒に細かに対応し、保健室で相談できる職員を用意するなど、よくサポートしている。

30. 寮は家具付きで快適で、談話室や屋外スペースもある。寮生は、体調が悪くなったり、怪我をしたりした場合、寮チームや保健室のメンバーが対応してくれることを知っている。寮生は寮で、バラエティに富んだ栄養価の高い食事と健康的なおやつを楽しむことができる。寮生の意見は、寮生集会、アンケート、個別面談などを通じて、常に把握されている。
31. 校舎と寮施設は安全で健康的な環境を提供している。職員と生徒は、火災安全や避難に関することを含め、安全衛生に関するすべての要件を理解している。最新の情報を盛り込んだ関連方針が効果的に実施されている。入学記録と出席簿は適切に管理されている。ほぼすべての生徒が日本に帰国し、他校に転校した生徒の進路もフォローしている。

学校が生徒の身体的・精神的健康と感情の満足度に関して満たしている基準

32. すべての関連する基準を満たしている。

セクション 4：生徒の社会的・経済的教育と社会貢献

33. リーダーは生徒の社会的・経済的教育を育成し、生徒の社会貢献を積極的に推進している。生徒は、学校や寮で定期的に集い、交流する時間を持つことで、新たな友情を築き、対人関係やコミュニケーション能力を高めている。生徒は国や国際社会を理解し、貢献しようとしている。生徒は、自分たちのプロジェクトをサポートする職員の存在を認識している。生徒は学校内外でチャリティー活動に参加している。チャリティー・ショップの手伝いをしたり、毎年恒例の学園祭では、地域社会に様々な文化の料理を振る舞ったりする。エコ委員会では、生徒はゴミ拾いや古着のリサイクルに取り組んでいる。生徒は、世界的な災害の影響を受けた人々のための募金活動を支援した。
34. 生徒は次の段階への準備も万全で、一人ひとりに合った進路指導の恩恵を受けている。ほぼすべての生徒が日本での学習を継続し、ほとんどの生徒が第1希望または第2希望の高等教育コースに進んでいる。英国に残る生徒も、進学のための準備を十分に整えている。産業界で活躍する講師による講演などを通して、生徒は財政について学んでいる。
35. 多様なカリキュラムや創作活動、校外学習を通して、生徒は異文化を理解し、尊重する。モスクやシーク教寺院などの宗教的建造物を見学したり、Holyrood Palace や国会議事堂を訪れたりすることで、生徒は他宗教や英国の公的機関についての知識と理解を深めている。生徒は、Poppy Day, Guy Fawkes, Shrove Tuesday などの行事を祝い、追悼の日、歴史的な日、宗教的な日についての理解を深めている。生徒は国王の戴冠式を祝い、バース、ウェストミンスター、ウィンザーを訪問した。民主主義の原則に基づき、学校の委員会の生徒を選出する。
36. 生徒は、生徒会、食事委員会を通して、あるいは寮内で直接意見を述べるよう奨励されている。生徒はこのような機会を利用し、自分たちの意見が大切にされ、耳を傾けられていると感じている。生徒は健康的で栄養価の高い食事を楽しみ、食べようとしている。生徒は、良好なワークライフバランスが取れていると考えている。
37. 生徒は平等、多様性、インクルージョンについて明確に理解している。保護される特性について年齢に応じた理解を持ち、コミュニティ内のすべての人を受け入れている。生徒は、日本とイギリスの文化の類似点と相違点を認識し、それを称賛するとともに、学校の伝統を祝うことに誇りを持っている。

学校が生徒の社会的・経済的教育と社会貢献に関して満たしている基準

38. すべての関連する基準を満たしている。

安全保護対策

39. リーダーは、生徒の安全保護と満足度の促進のための取り決めが効果的であることを保証している。安全保護対策方針には最新の法令ガイダンスが含まれており、学校のウェブサイトで公表されている。職員は、内部告発や職員の行動規範など、関連する方針を理解し、遵守している。
40. 任命された安全保護対策責任者（DSL）は、必要に応じて外部機関と緊密に連携する。児童サービス、地方自治体の指定担当官、警察への照会手続きを理解し、地域のガイドラインに適合している。生徒は、職員がいつでも相談に応じられること、また心配事があればどのように報告すればよいかを知っている。
41. 全職員は雇用時に安全保護対策に関する研修を受ける。研修は定期的に更新される。その結果、職員はネット上の安全や過激化・過激主義がもたらすリスクなど、安全保護に関する知識を身につけている。安全保護対策のリーダーとして指名された者は、適切な上級レベルの研修を受け、研修は必要に応じて更新される。リーダーは適切な訓練を受けており、学校内の安全保護対策チームに支援と課題を提供することで、実践を振り返り、すべての行動に厳密さを持たせている。
42. 安全保護対策リーダーは、懸念のある生徒の包括的な記録をとり、安全に保管する。安全保護に関する懸念は、適切な期間内に対処される。
43. 定期的なトレーニングにより、教師はオンライン上で安全にいることの重要性を理解し、生徒がオンライン上で安全に過ごすための知識を身につけられるようにしている。生徒は、インターネットを安全に利用する方法を学び、インターネットの危険性を認識している。適切な監視とフィルタリングが行われている。
44. 学校のリーダーは、全職員とマネジメントの採用チェックが完了し、正確な採用時の記録が残されていることを保証する。リーダーは、必要なチェックがすべて適切に行われていることを確認するため、Single Central Registerを定期的にチェックする。

学校が安全保護対策に関して満たしている基準

45. すべての関連する基準を満たしている。

学校 詳細

学校	帝京ロンドン学園
教育省番号	825/6013
所在地	帝京ロンドン学園 フルマーグランジ フレームウッドロード ウェクサム バッキンガムシャー SL2 4QS
電話番号	01753 663711
メールアドレス	Teikyo.school@teikyofoundation.co.uk
ウェブサイト	www.teikyofoundation.com/english
設置者（代行）	河野祐一
校長	ネルソン文子
生徒の年齢	15歳から18歳
生徒数	31名
寮生の数	17名
前回の監査日	2020年2月11日～13日

学校に関する情報

46. 1989年に創立された帝京ロンドン学園は、15歳から18歳までの生徒が通う男女共学の私立校である。同校は、帝京大学グループによって所有・運営されている世界的な教育施設グループのひとつである。英国では、マネージメントは一人である。前回の視察以来、同校はデジタル学習機器を導入した。現在の校長は2022年9月に就任した。
47. 寮生は2つの男女別の寮に滞在する。
48. 学校では、7名の生徒が特別な教育的ニーズおよび／または障害（SEND）を持つと認定されている。教育・保健・ケア（EHC）プランを持つ生徒はいない。
49. 英語はすべての生徒にとって追加言語である。
50. 学校は、生徒が英語力を向上させ、共同生活を通して他者への共感と尊重を学ぶことを目指している。また、グローバルな視野を持ち、次のステップに進むことのできる人材の育成を目指している。

監査詳細

監査日程

2024年2月13日～15日

51. 3名の監査官が2日半に渡って学校を訪問した。

52. 監査内容は以下の通り：

- 授業参観（一部スクールリーダーと合同で実施）
- 出席確認と集会の見学
- 監査中に行われた課外活動の見学
- マネージメントと面談
- 校長、スクールリーダー、マネージャー、その他の職員との面談
- 生徒との面談
- 学習支援エリアおよび体育施設の視察
- 生徒と職員同伴での寮の施設訪問
- 生徒の作品サンプルの精査
- 学校から提供された様々な方針、文書、記録の精査

53. 監査チームは、ISIの事前調査に回答した生徒、職員、保護者の意見を考慮に入れた。

イングランドの私立学校団体はどのように監査されるのか？

- 教育省がイングランドの私立学校の監査機関である。
- ISI は、イングランドの私立学校を監査することを、Secretary of State for Education に認められており、私立学校協議会のメンバーである。
- ISI の監査は、私立学校の法的基準、EYFS 法的な枠組み要件、National Minimum Standards for boarding schools、及び他の関連する基準が満たされているかどうかを教育省に報告する。
- さらなる情報は、www.isi.net を参照のこと。

Independent Schools Inspectorate

CAP House, 9-12 Long Lane, London, EC1A 9HA

For more information, please visit isi.net